すがお

No.７７

養護老人ホーム
松楓園　情報誌

お花見食事会

春も深まり、木々の緑もしだいに鮮やかに染まりゆくなかで、新年度がスタートしました。

先日三月二十日に役員会が開催され、三十年度の松楓園の事業計画及び予算が承認されました。昨年度は、松楓園でも行政の【措置控え】の影響を受け 一〇〇名定員を満たす事が出来ませんでした。

新年度を迎えて

更に介護保険では報酬単価の改正が行われていますが、養護老人ホームは未だに措置費に消費税の上乗せはなく、現状のままでは益々経営が厳しくなる状況が予想されます。その状況の中で、施設サービスを低下させる事なく、今年度も運営方針につきましては、透明性や牽制機能を備えたリスク管理を構築し、安全で快適な生活環境を提供出来るように健全な施設経営に努めて参ります。

更に地域交流活動を積極的に推進し、地域ニーズに合った社会貢献事業の確立と社会援護を要する高齢者の自立を支える施設として取り組んで参ります。

今後も利用者満足度の高い支援サービスを提供出来るように専門的な知識・技術を習得出来る教育体制を強化し、様々な社会的適応困難者の受け入れを適切に対応出来る専門性に満ちた組織つくりに努めて参ります。

養護老人ホームとして、地域社会から信頼され期待される施設を目指して職員一丸となって取り組んで参りますので、一層のご指導・ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

副施設長
内田　京子

≪基本理念≫

利用者個々の人格･意思を尊重し、職員の知識･技術の向上の強化を図り、利用者の心身の状況とライフスタイルに合わせた支援サービスを提供します。

≪運営方針≫

1:透明性や牽制機能を備えたリスク管理により、安全で快適な生活環境の整備を図り健全な施設経営に努める。
2:地域ニーズに合った社会貢献事業を目指す為、様々な地域交流活動に取り組む。
3:介護保険の関連機関との連携を構築し、充実した個別契約型の介護サービスを提供する。
4:福祉サービス第三者評価を受審する。
5:認知症･精神疾患･知的障害また社会的適応困難者の入所に対して、専門的な知識･技術を習得し、適切な対応を行うことを目指す。
6:法人で取り組んでいる次世代育成支援対策委員会と連携を図り、仕事と子育てを両立させやすい職場環境作りの推進に努める。

【平成30年度介護予防対策への取り組み】

脳の健康教室

現在4名のボランティアさんにご協力頂き、利用者の皆さんは読み書き･数字並べ･計算などの課題に取り組みながら脳のトレーニングを行っています。今期で13期目となりますが、多くの皆さんが参加希望され意欲の高さを感じます。

体操教室

体操教室では、昨年体力測定の見直しを行い、踏み台昇降･握力･10m歩行の3種目とし、より利用者の生活に即した形で身体機能面の強化，体操教室のプログラムに活用出来るよう取り組んでおります。

平成30年度松楓園行事予定

冬

2月：節分

1月：利用者新年会

12月：クリスマス会

春

4月：お花見食事会

5月：端午の節句

3月：じゃが芋種植え

秋

9月：敬老祝賀会

9月：利用者一泊旅行

11月：チャレンジスポーツ大会

今年の福生プチギャラリー展示会は 11 月 13 日～18 日を予定しております。

11月：プチギャラリー展示会

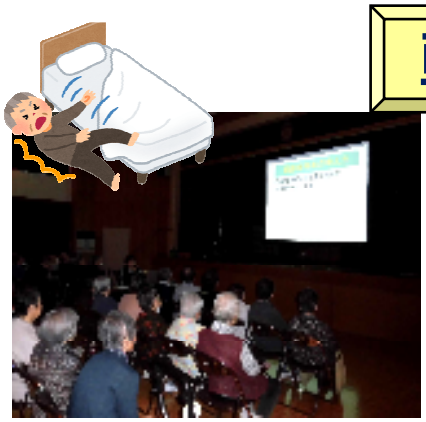
夏

6月：全居室移動

7月：夏のつどい

7月：七夕

転倒予防講習会



ちょっとした油断！

カーテンを開けずに部屋から
出ようとすると、事故に繋がる

松楓園では、長年利用者の事故防止に向けた取り組みを行っていますが、その1つに「転倒予防講習会」があります。この取り組みは平成 21 年度より始まり、先月23日に9回目の講習会を開催しました。危機管理運営委員会を中心に日常生活内で発生した転倒事故や職員のヒヤリハットメモ等に基づき、利用者の皆さんに日常生活内に潜む危険や高齢者特有の身体的･心理的要因を再現劇などで紹介し、利用者の皆さんに対し、予防策をその場で問いかけ、それぞれご自身で考える事により、予防意識向上に繋がるようにもしています。転倒は、高齢者の生活に大きな影響を及ぼします。今後も職員一同勉強を重ね予防に努めて参ります。

《利用者投稿》

霞空弥生の
雲もひとすじに
桜花も見頃
風も優しさ

青木　治世様

講習会だけではなく、手作りの壁新聞で、継続的に予防を呼びかけています。

編集後記

今年の春は少し急ぎ足のようで、既に深緑の季節を迎えようとしています。

今年度も松楓園利用者の皆さんの様子や施設の取り組みを伝える橋渡しの役割を果たして行けるよう努めて参りますので宜しくお願い致します。

広報誌編集委員会

発行者　社会福祉法人松楓会
養護老人ホーム松楓園
住所　東京都　あきる野市菅生1159番地
電話　042-558-7010(代)

http://www.shohuen.jp

（60 周年記念号もこちらに掲載しております、
是非ご覧下さい）